

令和3年9月15日

静岡市議会議長 鈴木 和彦 様

提出者 静岡市議会議員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

白鳥 実

安竹 信男

栗田 裕之

風間 重樹

石井 孝治

宮澤 圭輔

浜田 佑介

長沼 滋雄

内田 隆典

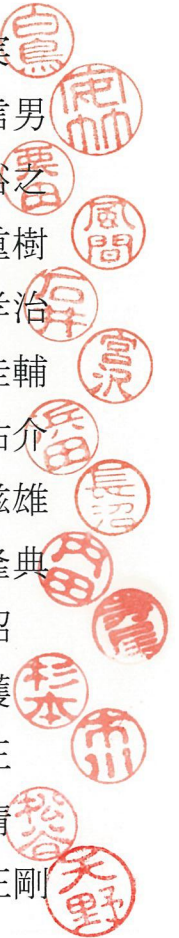
寺尾 昭

杉本 護

市川 正

松谷 清

天野 正剛



山本昌輝議員に対する辞職勧告決議

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により

提出します。



## 山本昌輝議員に対する辞職勧告決議

山本昌輝議員は当選前の昨年6月、清水区の路上で赤信号のため停車していた乗用車に追突し、運転していた男性にけがを負わせる事故を起こした。しかし、山本昌輝議員は治療費や車の修理費を支払わないばかりか、裁判所の呼び出しに応じることもなく、今年3月の静岡市議会議員選挙に立候補し当選した。当選後の今年の4月には裁判所から山本昌輝議員に120万円を支払うよう命じる判決が下りたが、この判決にも従わず、今年5月には、自賠責保険で支払った額を差し引いた約88万円分について、議員報酬5月分の一部約38万円と、選挙に立候補する際に納めた50万円の供託金が裁判所命令による財産の差押えを受けるという前代未聞の事態となった。

そもそも、私たち静岡市議会議員は市民から負託を受けた者として、その立場と職責の重さを深く自覚し、条例と法令を遵守し、高い倫理観と見識をもって本市の発展と住民福祉の向上に努めねばならないものである。

山本昌輝議員は現職議員の立場でありながら、裁判所の判決に従うこともなく強制執行を受け、加えて7月にマスコミ報道がなされるまでは被害者への謝罪も行わなかった。このことは、市民の負託を受けた議員としての自覚を欠くばかりでなく、議会の品位を著しく傷つけ、市民の信頼を失墜させる行為であり、倫理的、道義的責任は極めて重い。

よって、静岡市議会は同議員に対して、自らの意思により速やかに議員の職を辞することを強く勧告する。

以上、決議する。

令和3年9月15日

静岡市議会